

敬老会 ハンドベル演奏会

九月二十一日敬老の日に、能古公民館で敬老会が開催されました。ひまわりの里のハンドベルグループ「サンフラワーリングローズ」も出演させていただきました。当日は地域の方が多く参加され、和やかな雰囲気の中演奏をさせていただきました。ドレミの歌やきらきら星など三曲を演奏し、たくさんの方の拍手をいただきました。敬老会に参加させていただきありがとうございます。地域の方のご長寿・ご健康を祈念しております。来年もまた地域の皆様と、ハンドベルを通じた交流を続けていけたらと思います。

今福 健喜



福岡市障がい者 スポーツ大会

平成二十七年十月四日に開催されたスポーツ大会は、男性十一名・女性七名が参加しました。参加競技は陸上競技とフライングディスクでした。大会当日は天気に恵まれ、気温も二十五度を越す夏日となりましたが暑さに負けずに元気に最後まで競技に参加しました。大会の二週間前から何度か練習を行い、その成果が出たのか金・銀・銅とそれぞれ四個ずつメダルを獲得しました。また来年も頑張りますよう。

松尾 聖隆

能古中学校 福祉職場体験

九月十日(木)・十一日(金)の二日間に渡り、能古中学校三年生福祉体験学習が行われました。男子生徒二名、女子生徒一名の中学生が来訪し、利用者の皆さんと作業を行ったり、日常生活支援の見学を行いました。実際に畑での作業や機能回復訓練に取り組み、利用者の皆さんが様々な活動をしている姿に感銘を受けたようでした。この二日間の経験が何かの役に立って頂ければ嬉しいです。

時津 梢

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新春を迎えるにあたり、利用者、保護者、地域及び関係機関の皆様には、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り改めて感謝申し上げます。

さて、国の福祉制度の流れにおいて、平成二十五年四月に施行された障害者総合支援法につきまして、付帯決議としての施行三年後の見直しが生労働省社会保障審議会障害者部会にて平成二十七年四月から審議が行われて参りました。十一月に示された、その報告書案を見ますと、多くの障がい者団体が見直しを求めている「介護保険優先の原則」については、部会では一定の合理性があるとの判断で現状を維持していくと明記されており、また、知的障がい者の保護者の課題である「親亡き後」については、親が持つ支援機能を補完し当該障がい者を支える支援者また関係機関によるチーム作りを主導する「主任相談支援専門員(仮称)」の創設や、グループホームでの高齢化、重度化した利用者の体制整備や医療との連携、機能強化の必要性が謳われています。

障害者福祉サービスと介護保険サービスの制度の、その背景や設計の違いを踏まえ、利用者に不利益の生じないスムーズな相互関係が取れるよう対応が

着任者・退任者紹介
● 着任者 大西 久美子(看護師)
● 退任者 坂本 久美子(看護師)
長野 香苗(事務員)

行事予定
1月 20日 クラブ活動
2月 24日 面会日・ふくふくフェスティバル
3月 28日 クラブ活動
7月 28日 保護者会
8月 23日 バスハイク
9月 16日 クラブ活動
10月 27日 面会日

寄付・寄贈
● 長尾小学校PTA様
(雑巾・洗剤)
● 塚本 洋子様(お菓子)
● 田中 春子様
ありがとうございました。

苦情件数
〇件(平成27年10月~平成27年12月)
平成二十七年十二月二日
重松保夫さんが永眠されました。
心からご冥福をお祈りいたします。

求められます。

福岡ひまわりの里におきましては、平成二十六年四月より「福岡ひまわりの里のあり方検討会議」を進めてまいりました。これまで施設利用者の現状を確認し、これからの福岡ひまわりの里の方向性、役割について今年度末に報告書としてまとめる予定です。障がい者支援施設(入所施設)は、国の福祉計画で定員削減を求められていますが、在宅生活を送る65歳未満の知的障がい者の90%が親と同居している現状と、主な受け止め先にならざるを得ない現状と、住まいの場の設置状況とを鑑みても、住まいの場として障がい者支援施設は引き続き重要な役割を果たすものと考えています。その点も踏まえた上で、利用者の方が安全で快適な生活を送っていただくことを第一に今後の方向性を示せるよう考えております。

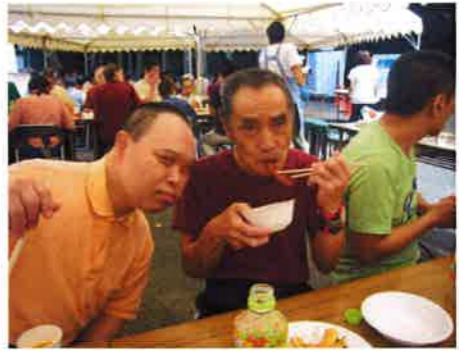
また、利用者支援につきましては、利用者の平均年齢が50歳を越え、健康面や食事、日中活動等、これまでとは異なる配慮や支援が必要となってきました。ただし、入所施設は高齢者を受け止める前提での建物構造ではありませんので、この状況の変化を踏まえ、それに対応する利用者支援が行えるよう施設整備に努める所存です。あわせて、利用者や保護者の方が気軽に相談でき、信頼される施設を目指して職員一丸で取り組んで参りますので、どうかよろしくお願いたします。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康と祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。
施設長 堀 浩一郎

しーめいる里

平成28年
1月号

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 障がい者支援施設 福岡ひまわりの里
〒819-0012 福岡市西区能古1601-39 TEL:883-2689 FAX:883-2690
E-mail: sato@fiku.jp URL:http://www.fiku.jp/sato/ 施設長:堀 浩一郎



バーベキュー

九月二十九日(火)、「バーベキュー」を行いました。当日は、お天気にも恵まれ、玄関先にテントと焼き場を設けて、焼きたての温かいお肉を提供することができました。

今回は、去年大人気だったウインナーの量を増やして、たつぷりの野菜とおにぎり、そしてメインに新鮮で美味しいお肉をふんだんに用意しました。

秋晴れの心地よい屋外でのバーベキューということで、皆さんとても明るい表情で参加され、お肉が焼ける香ばしい香りが漂うとより一層、会話も弾んでいました。

また、丁寧に焼いたお肉は、とても柔らかく、皆さん口々に「おいしい、おいしい」と喜ばれていました。

食後のデザートは、利用者の皆さんが大好きなアイスクリームでした。アイスクリームは大人気で、「来年も出して欲しい」とたくさんのお声かけを頂きました。

今回のバーベキューは大好評で終わることができました。来年度も皆さんに喜んでいただけるようなバーベキューにしたいと思います。

江崎 美樹



一泊旅行・日帰り旅行

十一月に、利用者の皆さんが毎年楽しみにしている旅行がありました。今年の旅行は、十一月十日～十一日の一泊旅行では阿蘇方面へ、十一月十七日の日帰り旅行では筑後川温泉に行きました。

一泊旅行の一日目の昼食は、阿蘇ファームランドで洋風のお弁当を食べました。昼食後はお土産を見るなど、思い思いの時間を過ごしました。宿泊先の阿蘇プラザホテルでは、夕食で豪華な会席料理を食べ、その後の宴会では恒例のカラオケをしました。ステージで熱唱する方、踊る方、またそれを聞いて応援する方など、皆で楽しい大宴会となりました。

二日目に行った城彩苑では、陣太鼓ソフトラムが大人気でした。昼食会場の水前寺観光センターでは、熊本の郷土料理である「団子汁」や名物の「高菜めし」を食べました。

日帰り旅行は筑後川温泉沿いにある、筑後川温泉「花景色」に行き、昼食で刺身や茶碗蒸し、天ぷら、馬刺しなどの会席料理を食べました。食後は、男女それぞれで貸切風呂に入り、入浴を楽しみました。

一泊旅行や日帰り旅行から施設に帰ったあとも、しばらくは興奮が冷めない様子でした。次回の旅行もとても楽しみにしています。

蔵内 智弘



能古校区体育祭

十月十一日(日)、『第五十六回能古校区体育祭』が浜崎グラウンドにて開催されました。

前日まで雨が降り、当日のお天気が心配されましたが、皆の願いが通じたのか朝から澄み渡った青空になりました。利用者の皆さんもひと安心され、全員で張り切って参加することができました。

開会式が終わると、いよいよ競技のスタートです。『グラウンドゴルフ』や『シーソーゲーム』など、おなじみの競技が続きます。難しいながらも一生懸命に取り組み、点数を取ることができ大喜びでした。楽しみにしていたお弁当の時間も、期待通りで大満足でした。

冷たい風が吹き付ける肌寒い一日で、利用者の皆さんの体調を考慮しながらの参加となりましたが、多くの方が最後まで楽しむことができました。地域の方々の交流もでき、大変有意義な体育祭となりました。

保護者会からはスポーツ飲料の差し入れを頂きました。また当日はたくさんの方に応援に駆け付けて頂きました。ありがとうございました。

佐藤 貴子

忘年会

十二月九日(水)に「忘年会」が開催されました。

昼食は、利用者の皆さんによるリクエストで、豪華なメニューが並び、皆さん美味しそうに食べていました。

支援員のステージイベントでは、寸劇やダンスが披露され、普段みられない支援員の姿に利用者の皆さんも楽しんでる様子でした。

利用者の皆さんからは、サンタさんの帽子やトナカイの耳を身につけて歌が披露されました。皆さんが知っている歌だったこともあり、手拍子したり、歌を口ずさんだりと会場全体が大盛り上がりでした。

次に、利用者の選抜メンバーによるハンドベル演奏が行われました。日頃の練習の成果を発揮し、綺麗な音でクリスマスソングを奏で、ご来賓の方からも褒めの言葉をいただくことが出来ました。

最後に、保護者会から頂いたケーキと記念品に、利用者の皆さん大変喜んでおり、今回の忘年会も楽しく無事に終了することが出来ました。

下川 園美